

様式3 【物・文化財・風景など実態のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開の可否 (可 否)

区分	1.森づくり 4.森と暮らし	2.森の恵み 5.森の文化財	3.森と技 6.森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 運搬	(ふりがな) うんぱん	
地域独特の呼び方	—		
タイトル	キンマによる搬出		
伝承地域	相双地方		
由来 (年代)	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 木材を伐採の現場からドバと称する木材の集積所まで人力や畜力で運び出すには様々な技術があった。		
内容	(内容とともに、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合はレシピなども) 木材搬出のための木製のソリをキンマと呼んだ。キンマを使って中出したのは昭和 37、8 年頃までで、その後は機械化がすすんだ。 キンマは木馬のことで長尺材から短い材まで運搬できる。樫の木や山梨で作られているが地面との摩擦を利用して重量物を運ぶ道具なので、ソリ板がすり減って 2 か月程度しかもたない。 キンマを使うにはあらかじめ「ソリ道」を設営する必要がある。勾配がある場所も多いので、なるべく勾配の緩いコースを選びマンノウなどを使って凸凹を均してソリを通すことができる道を造った。幅員 4、5 尺くらいは必要である。谷には栈橋を組み立てた。細い丸太を 1 尺おきぐらいに道に敷き、その上をキンマをすべらせる。 馬車一台分くらいはキンマで搬出できる。7~8 石、多い時で 10 石くらい運んだ。木炭は 60 俵分運ぶことが可能であった。 キンマは肩綱で曳く。身体に斜めにかけたベルト (幅 3 寸長さ 3 尺) のさきのロープを栈に結び全身で引き出す。ソリ道は緩い勾配で下がるように設けてあるが場合によっては若干上り勾配の所もある。そうした所は惰性で登る。きつい下り勾配はテコボウで制動しながら下げた。 キンマの作業はきつく常に危険と隣り合わせであった。		
大きさ・材質	(大きさ・緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの。)	—	(材質)
見頃	(緑の文化財、巨木など特定の時期に見頃が訪れるもの。)		
交通アクセス			
文化財等の指定状況			
問い合わせ先			

【フリーフォーマット】※表面に記載した内容に関連したことを自由に記入してください。

キーワード

キンマ



(檜葉町教育委員会)

ソリ道



(川内村教育委員会)

※活動の様子が分かる資料等があればコピーを1部ご恵与ください。